



# 学校だより

令和2年2月28日

No.12 3月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 一期一会



校長 荒井 健

新型コロナウイルス感染症への対応に向けて、校内では、衛生面の指導を続けております。ご家庭におかれましても、引き続き、ご対応をお願いいたします。行事等の実施や中止についてのご理解ご協力も誠にありがとうございます。今後、新たな変更等がありましたら、ご連絡いたします。力を合わせてこの状況を切り抜けていきたいと思っておりますので、今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、「一期一会」という言葉を耳にされたことがあると思います。

### 【一期一会】

（茶会の心得から。利休の弟子宗二（1544～1590）の「山上宗二記」に「一期に一度の会」と見える）生涯にただ一度まみえること。一生に一度限りであること。

（広辞苑より）

好きな言葉として、この「一期一会」をあげる人もいます。

いろいろと解釈の仕方はあるようですが、「人との出会いを一生に一度の出会いと考え、誠心誠意大切にすること」という意味ととらえて、座右の銘としている人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このような意味としてとらえると、文字通り一生に一度だけ出会う人だけではなく、ある期間お付き合いが続く人、あるいは度々会う人や毎日会う人だからこそ、日々心をこめて接していこうという気持ちにつながると思います。

3月は、一年のまとめの季節です。各クラスで出会った子どもたちが、この一年をどのようにまとめあげてくれるのでしょうか。素晴らしいまとめになることと期待しています。

特に、6年生は、間もなく卒業を迎えます。6年前の4月にこの篠原西小学校で出会った子どもたち。この6年間、いろいろなことがあったことと思います。全ての日を意識的に大切にしてきたという自覚はないかもしれませんが、この6年間を振り返り、自らの成長を確かめると、いかに貴重な日々だったかが実感できることと思います。これも、一緒に成長してきた友達との出会いがあったからこそ、と言えるのではないのでしょうか。

そして4月からは中学生。篠原西小学校の学区は、大きく篠原中学校と六角橋中学校に分かれます。それ以外の中学校に進学する人も含めて、卒業はともに成長してきた友達との別れも意味します。3月31日と4月1日、たった一日違いで見える景色は一変します。不安もあることと思いますが、中学校は別れた級友以上に数多くの友達と出会うことができる場でもあります。一期一会、篠原西小学校での出会いと同様、進学先の中学校での貴重な出会いも楽しみとして心に描きながら、前へ進んで行ってほしいと思います。

進級を控えた1～5年生の子どもたちにとっても、新しい出会いを控えています。次の学年への期待も、日々高まってくることと思います。ますますの活躍を期待しています。